

地域防災拠点と災害ボランティアセンターとのシミュレーションとは？

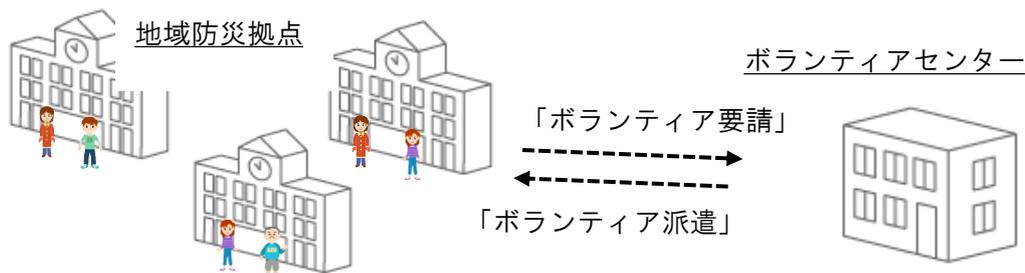
鶴見区災害ボランティアネットワーク

災害時には「災害ボランティアセンター」が立ち上がり、かけつけたボランティアと被災者の要望を結ぶ重要な役割を担っています。

地域防災拠点の訓練とあわせて、災害ボランティアネットワークとの訓練や講座を協働で実施して下さる地域防災拠点を募集します。

(1)「小型無線機を使ったニーズ発信訓練」

・小型無線機の操作と必要な情報のやり取りを体験していただけます。



(2)「出張講座」

・お近くの町内会館等で災害時の様々な状況への対応をトレーニングしていただけます。

○避難所運営を体験！

HUG (H:避難所 U:運営 G:ゲーム) = 「ハグ」

様々な避難者が書かれているカードを体育館（避難所）平面図に適切に配置したり、発生するニーズへ即応するゲーム形式の図上訓練です。

○災害図上訓練 ～鶴見区の地図を使っていざという時を考えよう～

事前に危険を予測することは、避難経路、避難場所の状況、即応性ある避難の準備、地域住民や関係機関で必要な連携などを具体的に考えるきっかけともなります！

○災害クロスロードゲーム

クロスロードとは「分かれ道」いざという時、どちらの道を選ぶか？
阪神大震災の体験を素材とした簡単なカードゲームです。

(3)「鶴見区協働シミュレーション訓練」

・区役所1階区民ホールで災害ボランティアセンターを立ち上げます。ボランティアニーズの発信訓練とボランティア体験をしていただけます。



平成31年
1月17日
(木) 朝7時
から実施予定
です。